

官公労共済会

共済会本部 ☎098-833-1101
中部支部 ☎098-938-7290
北部支部 ☎0980-52-2609
宮古支部 ☎0980-72-4212
八重山支部 ☎0980-82-3714

ホームページ <https://www.kankoro-kyosaikai.jp/>

共済会ニュース



官公労共済会
理事長
比嘉 盛博

2025年12月に開催されました第13回定時総代会において理事長に選任されました比嘉盛博でございます。新年最初の共済会ニュースの発行にあたり、書面をお借りして新年のごあいさつを申し上げます。

2025年度の世界情勢は、米国の通商政策の影響やアジア地域における軍事紛争の発生など、不確定要素に大きく左右される一年となりました。国内においても、景気回復と物価高騰、公務職場を含む全国的な人手不足など、私たちの生活や職場環境に大きな影響を及ぼす変化が続いています。

こうした中、新規会員の加入については、各構成組織と連携して取り組んだ結果、二年連続で前年度実績を上回り、退職・脱退者数も減少しました。各構成組織の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。一方で、会員総数は48名の減少（前年度137名減）となっており、安定した事業運営に向け、会員数の維持・拡大は引き続き重要な課題です。2026年度も組織強化を通じ、官公労共済会への加入促進に取り組んでまいります。

2025年度の共済事業では、有価証券利息収入が過去二番目の水準となり、かんこうローンの貸付件数増加により利息収入も増加しました。しかし、給付事業において給付総額が増加した結果、赤字決算となりました。収益事業については、旭橋都市再開発からの管理委託収入は堅調に推移し、やいまる（新八重山会館）は8月、北部会館も7月に満室となり、新たな収益源として期待されています。あわせて、WEB理事会の本格導入などにより、経費節減にも取り組んでおります。

ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルによるパレスチナ自治区への侵攻は、多くの民間人犠牲を生み、エネルギーや食料問題を通じて物価高騰の要因ともなっています。反戦平和の課題は、私たちの生活に直結する重要な課題として受け止めていきたいと思います。

当会は今後も、相互扶助の精神を基本に、各構成団体と連携し、持続可能な事業運営と組織拡大に取り組んでまいります。2023年度よりLINEアプリを活用した情報発信も行っておりますので、ご意見やご要望をぜひお寄せください。

結びに、会員ならびにご家族の皆さまのご健康とご多幸を心より祈念し、新年のあいさついたします。

第13回定時総代会

一般社団法人沖縄県官公庁労働者共済会第13回定時総代会が2025年12月19日沖縄県教職員共済会館『八汐荘』にて開催されました。

40名の総代が参加し質疑や意見が出され原案通り可決されました。

第13回定時総代会の質疑応答

1号議案

県職連合 比嘉総代

会員加入促進のため、事務局としては官公労共済会の一
 番の魅力について
 どのように考えて
 いるか。



執行部より回答

官公労共済会の魅力については、もとの成り立ちが、金融機関から容易に資金を借りることができなかった時代に、会員同士が会費を出し合い、必要とする会員に資金を融通するという相互扶助の考え方のもと設立された点にある。近年は利用率の低下という課題もあるが、会員ニーズに応えるため、非会員との差別化の一環として、会員限定の優待割引施設の整備にも取り組んでいる。

現在においてもその根幹となる魅力は、会員から集めた会費を原資として、会員が必要ときに貸付として利用できる点にあると考えている。

県職連合 比嘉総代

重要事項をLINEで発信していくとあるが、現在のLINE登録者数は会員の何%程度になるのか。

執行部より回答

現在、LINEの登録者数は約1700名であり、会員数約5400名のうち、約31%の会員にLINE登録をいただいている状況である。今後も引き続き登録の推進を図り、会員に対して情報発信を直接行える体制を強化していきたい。

県職連合 比嘉総代

財産目録上、積立金は約11億円あるとの説明があったが、そのうち約7億円は担保として計上されており、その他の資金についても、さまざまな形で運用・配分されているように見受けられる。そのため、実際に自由に使えるキャッシュは、説明されているほど多くはないのではないかと感じている。突発的な事態が生じた場合に、資金面での対応に支障はないのかについて伺いたい。

執行部より回答

会員から預かっている会費は約35億円であり、これを運用して事業運営を行っている。一方、労働金庫の一斉積立金とし

て約11億円を預けており、うち約7億円は担保に供されているため、自由に使える額は約4億円となる。共済事業における現金金は約1億円ほどあり、通常の運営はこの資金で賄っている。

突発的な事態が生じた場合には、必要に応じて積立金を取り崩して対応可能であり、当面の運営には支障ないと考えている。

有価証券による利息収入においても、毎月のキャッシュ状況を意識し、証券購入時期を工夫することで毎月何らかの収入が入るよう運用しており、月次の資金繰りが逼迫しないよう留意しつつ、今後も安定的な運営に努めていく。

県職連合 真栄平総代

労金利用配当金の直接還元率について、本部・中部・北部支部が20%であるのに対し、宮古・八重山支部は30%と還元率に差がある理由について伺いたい。



執行部より回答

直接還元額の割合について支部ごとに差があるが、その使い道については、各運営委員会で

決定しているものである。

具体的には会員への直接還元の方法や、その景品の金額等についてはそれぞれの運営委員会で決定している。

本部については、右に倣えて還元率を高くすると金額が大きくなるため、初年度は20%として運用しており、会員からの意見を踏まえながら利用額の検討を行うとしている。

2号議案

県職連合 大田総代

八重山支部に所属する者として、地元のチェーン店の居酒屋が割引対象となっており、よく利用



しているため非常に助かっており、共済会員で良かったと感じている。一方で、優待制度のホームページを確認したところ、宿泊施設については八重山地域では一か所も該当施設がなかった。そのため、今後、離島地域の宿泊施設も割引対象として拡充していただければ、多くの会員が喜ぶのではないかと考えており、対応をお願いしたい。

執行部より回答

八重山地域にホテルの優待がない件については、昨今ホテルの利用料金が上昇しているが、会員から情報をいただければ、そうしたホテルにも働きかけを行いたいと考えている。そのため、八重山の会員にもご協力いただき、一緒に優待割引施設にホテルを追加できるように努めていきたい。

県職連合 嶺井総代

本支部体制の在り方について議論しますが、この議論内容について現時点で具体的にあれば教えてほしい。



執行部より回答

現在は本部・中部・北部・宮古・八重山にそれぞれ事務所を構え、職員を配置してサービスを提供している。しかし、今後の運営について議論の中で、サービスの質を落とさず、本支部体制をどのように維持していくかを今後検討していく必要がある。

具体的な方向性については、まだ決まっておらず、場合によっては本部に一括するのか、現状の体制を維持するのか、あるいは別の形とするのか、については今後議論を重ねていきたい。



経費の節減については、どのように圧縮していくかが課題であり、人件費については退職不補充や、正規職員で対応するなど調整しているが、これ以上の圧縮は基本的に困難であると考えている。そのため、本部や支部の維持経費についても考えつつ、会員にとってより良いサービスの提供を実現できる形で、本支部体制のあり方について今後検討していきたいと考えている。

県職連合 長田総代

会員数が減少傾向にある中で、会員数の確保について具体的な案はあるか。

会費の増口については、会費が確実に返ってくることを考えると、口数を無制限に増やすと管理が難しくなるため、例えば4500円の会費



に追加で2口まで可能にする、などを検討してもよいのでは。

関連して、再加入についても何らかの案はあるのか。

また、Kカードについては、昨年の答弁において在庫過多との説明があったことから、在庫整理の観点も踏まえ、再発行手数料を引き下げて集中的に発行し、利用促進を図ることも一案ではないかと考える。今後はアプリやLINEを活用してIDやパスを発行し、LINEで会

員証を提示できるシステム検討したほうがいい。

執行部より回答

会員は基本的に組合員に限定しているが、会員の配偶者まで対象とするか、など会員資格などの範囲まで広げるかについて議論していく必要がある。また、会費の口数については、月額2500円を基準とし、1000円を1口として最大2口まで積立可能となっているが、規程上は最大10口まで設定することが可能である。どの単位が適切か、増やす場合は何口までが適当かについても検討し、より利用しやすく、資金確保につながる形で検討していきたい。

再加入については、本人の都合で自由に加入・脱退や借入ができる状態を避けるため、従来は原則禁止としてきた経緯がある。一方で、再加入の緩和については、一度退会した者についても状況に応じて再加入を認めるなど、最近では一定程度ハードルを下げていくという考えにもなっている。今後は、こうした再加入者も含めて会員拡大の対象とすることや、現行の構成組織に限らず、他の大きな組織への加入働きかけも含め、さまざまな形で会員数の拡大に向けた取組を関係者とともに検討していきたいと考えている。

Kカードの発行手数料の引き下げについては、引き続き検討していきたいと思う。

県職連合 比嘉総代

経費削減について、人件費の削減くらいしか手段はないのではないかとという素朴な疑問がある。投資についても、投資額増加についても検討する必要があるとの話があるが、有価証券の割合を増やすとリスクが懸念される。

有価証券は現在会費35億円に對して約11億円で、約30%を占めるが、今後さらに増やすことは安全か疑問である。

執行部より回答

人件費については、退職者の不補充や、正規職員で対応する等で調整してきたが、これ以上の圧縮は基本的に困難であると考えており、貸付利率が低利であることから安全性に留意した運用は必要不可欠である。

本部や支部の維持経費についても、現状以上に踏み込んだ削減は容易ではない。しかし、会員にとってより良いサービスの提供を実現するため、本支部体制のあり方も含め、今後どのように運営するかを検討していきたいと考えている。

2026年度役員

理事長	比嘉 盛博	(県職連合)
副理事長	多良間 宣武	(国公労)
副理事長	宮城 秀作	(全医労)
常務理事	知念 寿	(共済会)
理事	仲本 政之	(県職連合)
	大城 弘一	(全水道)
	吉濱 陽一	(全司法)
	上里 解	(全医労)
	岸本 隼	(社保労連)
	石上 五世	(中部支部:県職連合)
	宮城 広明	(北部支部:県職連合)
	石垣 肇	(八重山支部:県職連合)
監事	宮城 武	(県職連合)
	奥間 信康	(全水道)

以上 理事12名 監事2名

退任役員（理事）

理事 真栄城 徳昭（県職連合）

長きにわたりご尽力いただきありがとうございました。
今後ともご指導、ご鞭撻、ご協力お願い致します。



給付金申請お忘れませんか？

2023年4月（令和5年）に小学校、高校にご入学されたお子様の入学給付金申請は時効間近です！



給付金の申請書等は共済会ホームページからダウンロードできます。



県職連合 高宮城総代



昨今の物価上昇については、今年人勧においても全世代に届いたものの、物価上昇に十分追いついていない状況である。その中で、官公

労の貸付については利

率0.9%という低金利で会員目線では大変ありがたい金利である。この利率は年度末の理事会で毎年決定されていると思われるが、今後も現行の0.9%の低金利を維持していただければ、会員にとって有益であり、この情報を広く周知することで利用の促進にもつながると考えている。低利率の維持をぜひお願いしたい。

執行部より回答

利率については毎年11月末に財務省の発表に基づき決定している。具体的には、国の示した利率に0.5%を加算した額を官公労共済会の貸付利率として理事会で決定し、翌年4月から適用している。2025年度の利率は0.9%で貸付を行っており、2023年度から同率であった。それ以前は2012年度から2019年度までは4.1%、2020年度1.6%であった。2026年4月からの利率は理事会決定

により1.3%となる予定で、今後会員に向けて周知していく。

低利の維持を求める声については、2012年と比べても貸付利息収入の減少は、顕著に表れており、会員にはご理解いただきたい。

県職連合 比嘉総代

会費が減少する中で、キャッシュや短期資金、流動資金の安全性も気になる。資金確保のためには、会員数を増やす以外にはないのではないかという認識であるが、資金運用について、もう少し具体的な検討状況を教えてほしい

執行部より回答

キャッシュを生む方法として、貸付利率を0.9%から1.3%に引き上げることで収益は増加するが、運用益も別途確保する必要がある。

資金として使用できるのは労金の一斉積立金の担保に供していない4億円で、退職者への会費返戻など必要に応じて対応していく必要がある。

この資金は定期のまま低利で資金を寝かせる必要はないとの考えもあり、安定したキャッシュ確保の方法を今後の理事会で検討していきたい。

優待割引施設が増えました！

全国の「はるやま」「フォーエル」「P.S.FA」でKカード提示すると

5%～10%割引になります(対象外商品、条件あり)

詳しくは、共済会ホームページをご覧ください！



2026年4月1日より、 かんこうローン(変動)の利率が 1.30%になります。

ご融資受付の際には、変動金利の貸付利率変更基準日を毎年4月1日としている旨をご説明しておりますが、基準日である2026年4月1日より、かんこうローンをはじめとする各種貸付金利を下記のとおり変更いたします。

※すでにお借入れ中の方も対象となります。

官公労共済会の貸付は変動金利のため、2026年4月1日以降は新しい利率でのご請求となります。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2026年4月1日ご請求より

かんこうローン	0.90% → 1.30%
楽々ローン(受付終了)	0.90% → 1.30%
ビッグローン (受付終了)	0.90% → 1.30%
結ローン(受付終了)	0.90% → 1.30%

